

全国の野球少年たちが交流「プロ野球への夢」が目標

12月26日(金)から28日(日)に札幌市の札幌ドームで、各プロ野球球団が推薦及び編成したチームが出場し開催された「NPB12球団ジュニアトーナメント」EN



→右から橋本泰地くん、西川晃貴くん、世良亮太くん、近藤祐太くん

(生涯学習課)

春分の日は筆の日(関連行事)

フォーラム日程

2月21日(土) 午後1時 開会(三村裕史町長・芥川雅利実行委員長挨拶) 午後1時20分 第1部「書・画の筆」

筆の里スポーツクラブ 太極拳(夜)教室 参加者募集

EOS CUP2008に、広島東洋カープジュニアとして、熊野レンジャーズ6年生の橋本泰地くん(川角)、西川晃貴くん(中溝)、世良亮太くん(出来庭)、近藤祐太くん(出来庭)が推薦され、出場しました。

アートスクウェア 教室作品展2009 2月10日(火)~3月8日(日)

初心者が楽しみながら、筆を使うことに重点を置いて開催している各種教室「アートスクウェア」。筆の里工房に集う週末アーティストたちの作品展をぜひご覧ください。



▽期間中入館料:大人300円、小中高生150円、幼児・PA L会員無料

「木村陽山コレクション」25 唐物彫林和靖文竹管筆

中国の北宋時代の詩人、林和靖(九六八~一〇二八)が竹軸に彫られています。林和靖は、俗世を避け仙人のよう暮らしをしながら詩を詠んだことから、理想的な文人、憧れの対象として、絵画や工芸作品の主題としてよく取りあげられています。彼は梅と鶴を愛したため、この筆にも穏やかに微笑む林和靖と、梅の老木、悠々と空を舞う鶴が浮き彫りにされており、直径3cmの大筆に仕上がっています。



(2月中、筆の里工房に常設展示します。)



→去年の展示の様子

▽前期:2月10日(火)~22日(日) 水彩画・日本画・油絵・イラスト・写経・かな・インテリアの書・印



→去年の展示の様子

▽後期:2月24日(火)~3月8日(日) 水墨画・絵てがみ・実用書道・裏打ち・飾り文字・友禅・キッズ・アートパラダイス

教室体験 「趣味をみつけよう」 2月15日(日)午前10時~午後3時

自分に合った教室を見つけてみませんか。 水彩画・日本画・油絵・写経・かな・飾り文字が体験できます。



▽体験無料・要入館料 ▽期間中入館料:大人300円、小中高生150円、幼児・PAL会員無料

特別展 筆の美 2月21日(土)~

筆の里工房が収蔵する日本最大の筆のコレクション、木村陽山コレクションから選出した約200点を中心に、細井広沢が制作を試みた水筆や、澤庵宗彭が使用した筆、さらにポーラ文化研究所所蔵の江戸期の化粧筆コレクションを合わせ、300点を越える名品の展覧を通して多様な筆の美を探ります。

○東京展 2月21日(土)~3月29日(日) 五島美術館(東京都世田谷区上野毛3-9-25) 700円 ○広島展 4月8日(水)~26日(日) 筆の里工房

入館料 大人500円 小中高生250円 幼児無料 ※PAL会員は無料です

筆づくりフォーラム in Tokyo

書、絵画、化粧などの日本文化を筆の視点で読み解く公開討論

平成19年3月に日本文化を「筆の視点」から読み解く初めての試みとして、筆の里工房で開催した「筆づくりフォーラム」。 その第2弾となる今回のフォーラムは、「筆の都熊野町」を全国に情報発信するため、場所を首都東京に移して開催します。 コーディネーターは五島美術館学芸部長であり財団

理事の名児耶明氏。パネリストには書家の土橋靖子氏や多摩美術大学教授の島尾新氏など各界で活躍する専門家の先生方をお招きし、それぞれの立場から筆を切り口に語って頂きます。 町内からは、元熊野筆事業協同組合理事長の竹森鉄舟氏と熊野筆伝統工芸士会会長の仁井本誠研氏に、パネリストとしてご参加頂きます。

■時事通信ホール 03-3546-6606(東京都中央区銀座5-15-8) 無料 300人(要申込) ■筆の里工房 855-3010